

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【公開番号】特開 2003-195665 (P2003-195665A)  
【公開日】平成 15 年 7 月 9 日 (2003.7.9)  
【出願番号】特願 2002-343551 (P2002-343551)  
【国際特許分類第 7 版】  
G 0 3 G 15/20  
【F I】  
G 0 3 G 15/20 1 0 2

【手続補正書】  
【提出日】平成 16 年 6 月 4 日 (2004.6.4)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

熱エネルギーを生成するよう構成されたヒータと、印刷装置によって回転可能に保持され、前記ヒータから印刷媒体に熱エネルギーを伝えるよう構成された熱伝導性エンドレスベルトであって、前記ベルトのうちの少なくとも一部は、前記印刷経路に隣接して少なくともその一部に沿って配置され、前記ベルトの前記印刷経路に隣接する部分の長さは、調節可能で、前記印刷経路に沿って前進する前記印刷媒体が前記ベルトに隣接している時間量を変更するようになっている熱伝導性エンドレスベルトと、を備え、前記印刷経路に沿って移動する前記印刷媒体に伝わる熱エネルギーの量が調節可能であることを特徴とする印刷装置内の印刷経路に沿って前進する印刷媒体に伝わる熱エネルギーの量を変更するシステム。

【請求項 2】

前記印刷経路に平行な方向と前記印刷経路を横切る方向のうちの少なくとも一方に沿って、前記印刷経路に対して可動である前記ベルトが周りを回転する第 1 のローラを備えることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記ベルトが周りを回転する第 2 のローラを備えることを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記印刷経路に対する前記第 2 のローラの位置が固定されていることを特徴とする請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記第 1 のローラと前記第 2 のローラとの間の距離が略一定に維持され、前記第 1 のローラが前記第 2 のローラを中心に回転して前記ベルトを前記印刷経路に近づけられる又は遠ざけられることを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 6】

少なくとも前記第 1 のローラは、前記印刷経路に平行に動いて、前記ベルトが隣接する前記印刷経路に沿った距離を変更することができることを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記ベルトが周りを回転する第 3 のローラをさらに備えることを特徴とする請求項 2 に

記載のシステム。

【請求項 8】

前記 3 つのローラのうちの少なくとも 2 つが、前記 3 つのうちの残りの 1 つのローラに対して可動であることを特徴とする請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記 3 つのローラのうちの少なくとも 1 つが、前記印刷経路に平行に可動であることを特徴とする請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記ベルトを隣接して配置することができる前記印刷経路のうちの一部が平らであることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。